

鶴亀算（つるかめざん）について

鶴亀算は、江戸時代の人考えた算数の問題です。パソコンもスマホもない時代に
いっしょうけんめい計算したのは、すごいことだと思いませんか？

○ 鶴亀算の解き方を説明します。

（例題）つるとかめが10いて、足の数の合計が28です。つるは何羽いますか？

【表を作って考えます】 全部かめだったら、足の数は40本になります。

ツル2	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
かめ4	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
足の数	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20

* 2本ずつ少なくなっていくのがわかりますね。これをもとに考えます。

つる	6 羽
----	-----

① つるとかめが20いて、足の数の合計は64です。かめは何びきいますか？

かめ	びき
----	----

② 50円切手と80円切手が合わせて35枚あり、合計の金額は1900円です。50円切手は何枚ありますか。

50円切手	枚
-------	---

③ 10円玉、100円玉、500円玉が合わせて27枚あり、金額の合計は3180円です。
500円玉は何枚ありますか。

500円玉	枚
-------	---

年	組	名前
---	---	----